

郡家コミュニティセンター市長懇談会

○日 時：平成 30 年 8 月 9 日（木） 午後 7 時～

○場 所：郡家コミュニティセンター

○参加者：20 名

○担当者：市長

地域担当職員 平尾（財務課）・中尾（住宅課）・北山（健康課）

1. 市長あいさつ

郡家校区の皆様方今日はお忙しい中、ありがとうございます。市長懇談会はそれぞれの地区内の問題、また市全般について意見を聞くことができるありがたい機会である。いろいろなご意見をいただきたい。よろしく願います。

第二次総合計画について

郡家地区でも大変素晴らしいまちづくり計画を作っていただいている。丸亀市でも丸亀市全体のまちづくり計画ということで第二次丸亀市総合計画を作らせていただいた。合併した時に 10 年間の総合計画を作り、平成 28 年で 10 年を経過したため新しい総合計画を 1 年かけて作った。全体スローガンは「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」である。丸亀市に生まれ住み育ってきた人、また縁あって丸亀市に引っ越してきた人、そういった人達が生活の実感として暮らしやすいまちだと思えるまちづくりをしていく。丸亀市は暮らしやすいまちだという指数的な評価があるが、その魅力をさらに高めることによってこれから少子化といった問題を解消すべく、若い人達が住んで暮らしやすいと思えるような環境作りをするためにも、この計画を作らせていただいた。

計画は 5 つの基本方針に沿って進めていくことにしている。1 つめは子供たちが育ちやすい環境を作るということ。2 つ目は災害の時にも安心して暮らせるまち。3 つ目には若い人が暮らすには産業や経済が活発に行われるまちでなければいけない。4 つ目には高齢になっても元気で暮らせなければいけない。5 つ目は地域を愛している皆さん方の力で支えていただくコミュニティ活動の充実したまちを目指す。その 5 つの柱でこの計画を作らせていただいた。これに沿った細かいプロジェクトがある。もう少し細かく書かせていただいている冊子がセンターにあるので、一読していただきたい。4 年間でこんな事考えているのだというのがわかっていただけたらと思う。よろしく願います。

都市計画マスタープランについて

20年間の県全体の都市計画で、10年経過したので中間見直しを行なった。従来の丸亀の都市計画と大きく変わるところはない。丸亀市では線引きがなくなり、田園地帯、農地、都市などはっきりしない状態で発展してきている。目指す将来像の中で市内を4つの区域に分類し、それぞれの特徴にあったまちづくりをしていこうと考えている。合併後、面積は大きくなったが、丸亀市の中心はやはりJRから丸亀城、大手町付近が中心拠点になるということで改めて中心市街地に位置づけさせてもらった。新しい市庁舎もそこに建設する。中心市街地に新庁舎など都市機能を集約し、それぞれの地区を公共交通で結んでいく。公共施設や教育・文化施設は点在させるのではなく、中心市街地に集約させて、ゆったりと住める郡家地区と中心市街地をコミュニティバスなどの公共交通で結ぶ。そのような整備をすることにより、郡家地区には居住に適したものを整備するあるいは子育ての環境を整備するという考え方にも繋がってくると思う。財政の許す限りで、それぞれの地区の要望に応える、また施設整備等を計画的にやるということで進めていきたいと思っている。

2.自由討議

①浸水被害について

(会 長)

最近、集中豪雨が多く発生している。郡家校区の人口は以前より約3倍～5倍くらい増加している。丸亀管内では今、海へ流れる水の処理ができかねているのではないと思う。郡家校区も集中豪雨になれば5ヶ所くらい浸水する場所がある。従来から水路改修については土地改良がしないといけないというのが通説であったが、治水を中心とした川の改修が必要でないかと思う。担当部署で考えていただき、地域防災を図るために河川の改修を河口の方から工事を進めるべきでないかと思う。集中豪雨の際、被害がでないように十分な検討し、川の整備、特に2級河川の整備をお願いしたい。清水川や古子川などがあるが半分くらいは土砂が詰まり、草が生えて十分に排水的なものができてないというのが現状でないかと思う。

(市 長)

郡家地区で浸水する可能性がある場所が5ヶ所あるということで、それについては個別に対応する必要があると思う。同様に他の地区にもあるが部分的にどうしても水はけが悪くなり、特定の場所だけが浸水するというケースがある。おそらく従来からわかっている場所だと思うので、それぞれ対処療法をするのがいいと思う。とにかく浸水にならないよ

うな改良をしたい。郡家地区で浸水するという5ヶ所を教えてください、もう一度確認してどういう方法があるのか検討したい。

2級河川について、田が住宅化してくると水の流下能力が落ち、内水氾濫が発生する。津森・今津地区では3年前の台風の時にも浸水した。川幅を広げることが有効な対策だが、莫大な予算と長い時間がかかる。丸亀市ではかなりの数のポンプを増設して強制的に排水するという対応をし、一定の効果をあげている。2級河川の整備について引き続き県に要望したいと思っている。また水路改修については、治水事業という解釈ができる場所については市でやりたいと思う。

②郡家小学校の施設整備について

(会 長)

郡家校区は教育のまちだと思う。他の校区に比べても児童数が多い。昨年よりお願いしている学校の整備の問題だが、職員室が大変狭い。一度確認し実態を把握して、職員室の改造をやっていただきたい。また外壁について、古い塀の部分にひびが入っている。大阪の地震でブロック塀が倒壊したが、大きい地震がくると崩れる恐れがあるので一度点検いただき改修をお願いしたい。

(市 長)

これまで学校施設は改修を進めてきたが、とても数が多い。市内全ての学校施設などの修繕、改修はある程度計画的に進めていかなければならない。計画を立てるために現在詳しい調査をしている。郡家小学校の職員室の修繕については教育委員会に計画に入っているのかどうか確認したい。また外壁のひびは把握していると思うが、改めて報告をしておく。

大阪北部地震で小学校のブロック塀が倒壊し、子どもが亡くなった事故があった。公共施設の調査を行なったところ、適合していないものがあった。今年度中に直す予定である。

(会 長)

子どもたちが元気に集まってくるような地域にしたいので、学校施設の充実をしていただきたいと思う。南中は築30年になるので、改修の必要があると思う。一度実態を確認していただき、整備をしていただきたい。

③コミュニティバス停留所について (文書保存)

(会 長)

約20年前に、民間の土地を借りコミュニティバスの停留所として利用している。当時、

後々の責任は市が持つということで、コミュニティと所有者で契約した。今後、バス停留所がなくなり、所有者に返還しなければならない場合、いろいろな問題が出てくると思う。返還などの問題が出てきた際には市が責任をもって対応していただきたいと思い、先日、担当課に行き確認したところ、その当時の書類などが保存されていないと言われた。役員が代わった場合、役員にも迷惑がかかるので市に協力いただきたい。

(市長)

公文書の保存年数が経過すると廃棄することになっているので、保存されていないと思う。その時にどのような約束、話があったのかは分からないが、今後は交渉記録など大事な文書などは保存していかなければならないと思う。

④郡家幼稚園について

(市長)

郡家幼稚園をこども園にし、例えば0歳から2歳児あるいは夏休みなど預かれるような状況にしたいと考えている。郡家幼稚園の広さなら例えば校舎の建て増しや給食施設を増設する程度の余裕はあるのではないかと思う。私立保育園でも受け入れしていただいているが、なかなか待機児童が解消しない。対策としてはできればあの幼稚園をこども園にし、0歳から2歳児、夏休みに預かれるようにしたいと私は思っているが、ご意見があったら教えていただきたい。

(会長)

こども園は学校の教育が変わったから、そういうことを言っているのか。

(市長)

違う。全国的に幼稚園の子どもさんが減少し、保育所に入る子どもさんが増加してきている。幼稚園は教育委員会、保育所は厚生労働省の管轄であった。こういう管轄違いがある。保育所では子どもさんを預かるだけではなく、幼稚園と変わらず教育もしている。幼稚園は全員入れるが、保育所は枠がある。制度によっていろいろ不都合があるので両方のいいところを活かしたものを作りたいというのがそもそもの発想である。こども園は入りたい人は全員入園でき、教育もする、0歳から2歳児や夏休みも預かるというしくみになっている。かつて丸亀では保育所はあるが、幼稚園はないという校区がいくつかあった。その保育所をこども園に変更した。他の幼稚園などに通っていた子ども達がそちらへ通い、そのまま同じ校区の小学校に行くことができるようになり、とても好評である。郡家校区では幼稚園と保育所がある。公立保育所はなく、私立保育所をお願いしていた。やはり保育所が不足していると思う。郡家幼稚園をこども園にすることによって緩和されるのでは

ないかと私の頭の中では思っている。地元のご意見を聞かせていただきたい。

(会 長)

0歳保育というのはこども園であれば可能なのか。

(市 長)

保育士がいれば可能である。

(会 長)

現在、丸亀市で待機児童は何人なのか。

(市 長)

年度初めで36人である。この36人は現在求職中の方である。郡家の場合、ある保育園にどうしても行きたい、他の保育所なら行かないなど特殊事情という意味の私的待機児童がもっと多い。100人以上いると思う。民間保育所が新しくできればいいと思うが、市の対策として考えると子ども園を建設することがいいと思っている。

(男 性)

施設的には郡家幼稚園は垂水こども園に準ずるくらいには整備はされるのか。郡家地区は新しく建設された住宅が多く、若い新住民が多い。共働きの家も多いと思うのでニーズはあると思う。私的待機児童の人数を調査して必要なものであれば、作った方がいいと思う。

(市 長)

保育士一人当たりで預かれる児童数は、0歳児は2.5人、1歳児は6人、2歳児は15人、3歳以上は20～25人と人数の配置基準が違う。3歳児以上は比較的に入所しやすいが、0歳から2歳児はなかなか入所できない。兄弟なのに違う保育所に入所する場合が出てくる。それを解消したいと思っているが、保育士が足りない。0歳から2歳児や夏休みに地元の校区内で預かれる場所を増やしたいと思っている。

(男 性)

誠心保育園に入所希望を出しても、新しく入れる人が非常に少ないそうである。そういった人の声を実際に聞いた方がいい。

(市 長)

ある程度状況は把握しているが、実態をもう少し研究し、解決策を考えたい。

⑤コミュニティバスの運行について

(男 性)

コミュニティセンターを改築し、地域の高齢者にサロンなどで利用してもらい、介護保

険を利用しないでいいぐらい元気に生活して欲しいということで活動していると思う。以前より伝えているが、ぐるっとバスはコミュニティセンターまで入れない。駐車場でUターンすれば運行できると思う。センターまで運行できれば高齢者ももっと利用しやすいと思う。それと百十四銀行へ行く道、狭いが小型バスで運行してもらえたら便利になる。夜の便も増便して欲しい。

(市長)

第二次総合計画にも記載しているが、バスはこれから免許証を返納いただいた高齢者の方にも安心して使えるようにしなければならない。都市計画マスタープランでも説明したが中心市街地と公共交通で結んでいく、そのような整備計画が必要である。バスの問題はこれからの丸亀市にとって大きな課題である。例えばコミュニティが有償運送するというような新しい仕組みも必要になってくると思う。

広島町では、来年度よりNPOが受託し自家用運送に切り換える。必要な方の家まで送迎するような仕組みにすると聞いている。飯山でもそういうことを考えている。幹線はコミュニティバスを走らせるが、細かい所までは運行できない。地域で新しい輸送システムを導入する必要があるかもしれない。公共交通について検討していくので、いろいろと意見を出していただきたい。

⑥民生委員への情報開示について

(男性)

民生委員をしている関係で情報開示が他市に比べ少ないように思う。現状の情報を市は把握していても、民生委員へは情報が流れてこない。地域内の調査依頼などで多少の情報をいただきたいと思う。情報開示もどこまでしたらいいかいうのも難しいと思うが、民生委員は守秘義務があるので、ある程度は教えてもらいたい。

(市長)

市役所よりも民生委員さんの方が現状をより詳しく把握している場合も多々ある。お互い分かるところを分かる範囲で情報共有することは必要だと思う。全ての情報やリストを民生委員に渡すことはできないが、民生委員さんと協力することによりうまくいくケースがある。民生委員さんは公務員なので守秘義務がある。情報共有可能な部分はある程度の情報を提供するようにと担当には言っている。個別に相談していただければ対応したい。

⑦農道について

(男 性)

田舎の昔の農道をせめて農道の横の立ち上げすれば、軽トラでも走れるようになる。整備に力を入れて欲しい農道が沢山ある。整備すれば有効利用ができるのでないかなという気持ちがある。

(男 性)

農道はたくさんあるから、具体的な場所をどうして欲しいか言わないとダメだ。

(男 性)

今の農道は全て転用で農道が広がっている。国や市が整備するのには相当な問題がある。簡単にはできない。

(男 性)

そのような事は地元がやっていかないとダメだと思う。地元でやってみて、問題になっている場合は市に相談すればいい。いきなり言っても無理だと思う。

(市 長)

実情に応じてできる範囲ではやっている。個別に相談していただきたい。

⑧敬老会について

(男 性)

75歳の敬老会の案内がなくなると聞いているが、私は今年75歳になるが対象外になった。5年先まで生きていくかどうかかわからないが、頑張ります。

(市 長)

敬老会の議論は去年、一昨年あたりからずっとやっていた。アンケートを取り協議した結果、来年度より段階的に引上げ最終的に80歳とさせていただいた。祝い金についても変更させていただく予定にしている。

⑨ハザードマップについて

(男 性)

7月の豪雨ではあまり被害がなかったが、倉敷市真備町では堤防が決壊し多くの高齢者が犠牲になった。おそらく堤防が破壊するというのはあまり考えてないと思う。しかし絶対ないとは言えない。地震では郡家は河川の方は心配ないと思うが、ため池がある。真備町では、ハザードマップと同じエリアで浸水場所もだいたい合致しているということなの

で、改めて市民の皆さんに環境がどういった地域かを広報などでお知らせしておいた方がいいのではないかと思います。

(男 性)

今回の豪雨で土器川の水位がどのくらいまでいったかわからないが、降水量は何mmまでなら大丈夫なのか知らない。近々災害が来るのではないかという気がする。どの辺りが浸水するのかというのは想定がないとわからない。市民への公表は必要だと思う。検討できるのであればしてほしい。

(市 長)

新しいハザードマップを皆さんに今年お配りする予定である。ぜひ自宅周辺の環境を確認してもらいたいと思う。避難するべきかどうするべきかいうのをある程度自分で判断していただくことが大切である。川は私の知る範囲では越水したら崩れる。逆にいうと越水しなかったらなんとかなる。上流でどれだけ降るかで、丸亀市内で500mm降ってもある程度は大丈夫だと思っている。校区で防災の話し合いをすると思うが、マップを見て危険箇所についての話を個別にすることが必要になる。

⑩大手町再編について

(男 性)

大手町の再編成で今の生涯学習センター中央保育所辺りの構想ができたが、構想がほぼ固まったのであれば全体的な構想を示していただきたい。

(市 長)

議会の方に構想を出させていただき、その後パブリックコメントをいただく予定である。間もなくその資料がそれぞれに配布されるので、ご確認いただき意見を頂戴したい。ホームページにもまもなく公表される。

(男 性)

商店街にホテルができ、マンションが完成したら人口が増えて活気はでるかもしれないが、商店街は昔の雰囲気を取り戻せないかと思う。富屋町のアーケードを撤去した際、商店街ではなく町並み保存地区のようになってしまい残念に思う。通町も同じようになってしまわないか心配だ。

城内グラウンドも駐車場にしてもらいたい。観光バスが入れるようにできればもっといい。今は駐車場がないので、観光客はとても困っていると思う。

(市 長)

おっしゃることはよく分かる。残念ながら非常に価値のある文化財で、あのグラウンド

もいわゆる史跡なので、今のところは駐車場にするのは難しい。最近、文化財も法律が変わっており、文化財を活用するという方へ変化しているので、可能性はあるかもしれない。

(男 性)

当分は石垣修復に時間がかかる。

(市 長)

石垣修復は最長 14 年かかる。国の予算で補助金がついたり、市の予算もつぎ込んだりすれば少しは変わるのでなるべく早くやりたい。また寄附も募ろうと思っている。

⑩自治会加入促進について

(会 長)

郡家校区では自治会加入率が相当低く、44 パーセントである。加入促進を頑張っているが、若い人が多いせいか自治会に加入してない方が多い。若い人にも地域づくりに参加してもらいたいということで、今年から底上げ事業を進めている。何年先になるかはわからないが、加入促進への努力を続けている。地域コミュニティ事業について、丸亀市は地域に任せている。自治会への加入率を上げるにはどうするか、自治会形成を促進できるような財源を設けるか推進をしていただきたい。地域ごとのコミュニティでするのも限度がある。丸亀市として基本的な地域づくりをもう少し掘り下げて考えていただきたいと思う。

(市 長)

私もそのように思う。道路や橋の整備なども大事だが、自治会加入、コミュニティに対し皆さんが関心を持ってもらうことは相当大きな価値がある。どのコミュニティ市長懇談会に行ってもこの話題が必ず出る。コミュニティの役員をされている方が苦心されていることは理解できるので、総合計画で加入率 6 割を目指すという目標を掲げさせていただいたので頑張るようにしたい。

(会 長)

丸亀でも一番加入率の高い所は高潮被害があった地域、昔の地域住民が多い地域が多い。郡家の場合は新しい住民が増えているので、現状維持、守るのが精一杯である。最近では高齢者でも自治会から脱退している人が多い。補助金の出し方をもうちょっと工夫し、自治会を作らなかつたら絶対に損だというような秘策を考えて欲しい。